

別記
第1号様式 (第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	28年 10月11日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 大阪市西区新町2丁目15番27号	氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) サンキン株式会社 代表取締役社長 玉置 克臣 06-6539-3200
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001
適 用 範 囲	サンキン株式会社 福知山工場 長田野工場
導 入 年 月 日	2002年 2月11日
認 証 番 号	CI/1072E
基 本 方 針	省エネ、廃棄物の削減とリサイクル、有益な環境側面等に目的・目標を定め継続的に改善し環境にやさしいエコ製品の提供に努めます。環境法令等、遵守し環境保全活動、環境汚染の未然防止、環境負荷の低減に努めます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	(省エネルギー-CO2の削減) 2015年度比原単位1% (1.7kgco2/t) の削減 部門実績合計134tco2/年間削減 (生産性) 生産性の向上一人一分当たりの生産量1.50kg/分以上 (歩留) 歩留の向上 93.5%以上 不適合率の低減 0.30%以下
目標を達成するための取組の内容	(省エネルギー) 電気設備 (各設備、冷暖房、電灯等を含む) の無駄な運転を見直し電力使用量の削減を図る。省力機器の発案及び実施・潤滑油槽及び配管の保温・エアリークの撲滅・見える化により各人の意識改革を図る。ボイラー入切時間の見直し等によりガス使用量の削減を図る。 (生産性・歩留の向上) 各種改善活動実施
目標を達成するための取組の進捗状況	(省エネルギー) 省力機器の発案及び実施・潤滑油槽及び配管の保温・エアリークの撲滅・見える化により各人の意識改革を図り取り組んだ。また、高効率モーターへ更新にも取り組んだ。今後も継続的に改善に取り組んでいく。 (生産性・歩留の向上) 各種改善活動実施中
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	(省エネルギー-CO2の削減) 2015年度比原単位1% (1.7kgco2/t) の削減目標に対し9.7%増 部門実績合計134tco2/年間削減の目標に対し5.4%削減 (生産性・歩留) 生産性の向上一人一分当たりの生産量1.58kg/分以上 (実績1.48kg/分歩留の向上93.5%以上(実績91.78%) 不適合率の低減0.30%以下 (実績0.351%)
事業活動に係る法令の遵守の状況	法令遵守状況等問題ありません
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについて1回/年実施し継続的な改善を実施している。外部審査においても不適合はありません。前年度において、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、今年度も同一のシステムにより運用することとした。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。